

## シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
国語	現代文B	普通科・2学年	2単位
教科書	[主たる教材] 現代文B (数研出版)		
副教材等	[副教材] 新国語便覧 (第一学習社) 熟語を音訓から学ぶ品詞別頻出漢字マスター3000 (尚文出版) 積み上がる精選現代文2 (ランズ)		

## 1 科目の目標

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深める能力を養う。

## 2 科目の内容

- (1) 論理的な文書を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。
- (2) 文学的な文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。
- (3) 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。

## 3 授業計画

月	内 容	配当時間	指導上の留意点
4月	評論「胆力について」内田樹 小説『山月記』中島敦	8	・論理的な文章について、段落関係や指示語、キーワードに留意しながら読み、具体例と抽象的見解との対応を理解し、筆者の意図を正確に捉えること。また、筆者の考えを踏まえたうえで、自分の考えを深めること。
5月	○1学期中間考査		
5月	小説『山月記』中島敦	12	・文学的な文章について、作品の文体に注目しながら読み、表現に即して登場人物の人物像や心情とその推移を読み取り、作者がその設定で表現したかったことを考察する。
6月	評論「ホンモノのおカネの作り方」岩井克人		
7月	○1学期期末考査		
7月	表現 小論文 詩 『永訣の朝』宮澤賢治 詩 『小諸なる古城のほとり』島崎藤村	18	・さまざまな文章を読む中で、そこに見られる語句の使い方、構成の工夫などに気づき、自分の文章に生かそうとする。
9月	小説『こころ』夏目漱石		
10月	○2学期中間考査		
10月	評論「科学・技術の歴史の中での社会」 村上陽一郎	14	
11月	評論「疑似群衆の時代」港千尋 評論「越えてきた者の記録」リービ・英雄		
12月	○2学期期末考査		
12月	評論「虚構の智慧・『ウソ』の効用」大浦康介 評論「文学のふるさと」坂口安吾	18	
3月	○学年末考査		

#### 4 学習評価

	意欲・関心・態度	話す・聞く能力	読む能力	知識・理解
評価の 観点・ 規準	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	定期考査、課題テスト、授業内の小テスト、課題提出、ノート点検、授業への取り組みを総合して評価する。			

#### 5 担当教員

国語科教諭

#### 6 担当者からのメッセージ

- ・相手の意見を注意深く聞く、あるいは読むことで、意図を酌み取り理解する力を身につけること。他人と自分の意見、表現を比較して自己の考えを深化させること。他人に納得してもらえる表現力を身につけるために、他人の意見、文章を参考にすること。これらの力を養成することが大切です。
- ・①曖昧な理解をしていた語句の意味を確認する。②書き手の意図をとらえる。③文章についての疑問点を挙げておく。①～③の予習をして授業に臨むことが大切であり、密度の濃い授業が個々の学力を高める基礎となります。
- ・毎週1回のペースで漢字教材からの小テストを実施します。
- ・授業で扱うものに限らず、さまざまなジャンルの文章を数多く読むようにしてください。